

Peach 累計搭乗者数が 3,000 万人を突破 ～「アジアのかけ橋」を目指し、国内線国際線のネットワークを展開～

- ・ 2012年3月1日就航からのPeach国内線国際線累計搭乗者数
- ・ 就航から約7年4か月で、国内線17路線、国際線16路線の合計33路線にまで拡大

Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:井上 慎一)は、2012年3月1日の就航からの累計搭乗者数が、2019年6月20日に3,000万人を突破しました。



Peachは2012年に「空飛ぶ電車」をコンセプトに日本初のLCCとして誕生して以来、日本の航空会社では最速のスピードで路線を拡大してまいりました。就航当初、国内線2路線でスタートしたPeachは、本日現在、国内線17路線、国際線16路線の合計33路線を展開しております。日帰りで気軽に海外旅行へ出かけるお客様、社会人として働きながらPeachで大学に通い、社会人学生として夢を追いかけるお客様そして週末ごとにご家族の元に帰られる単身赴任のお客様など、Peachは移動距離だけでなく、これまでの空の旅の概念を変えてきました。

CEOの井上 慎一は「日本の航空業界にPeachが登場して約7年4か月、累計3,000万人という多くのお客様にご利用いただいたことに感謝申し上げます。就航当初より、アジアのかけ橋を目指してきたPeachですが、お陰様で今年3月には国際線の累計搭乗者数も1,000万人を突破しました。今年度末をめどに完了するバニラエアとの統合により、Peachのネットワークは国内外にさらに拡大いたします。これからも安全運航を堅持し、日本そしてアジアに笑顔をお届けしてまいります」と述べています。

Peachはバニラエアと統合後、保有機材50機体制、就航路線50路線以上の規模を目指して事業を拡大し、中距離LCC事業にも進出する予定です。

「空飛ぶ電車」Peachは、今後も様々な取り組みを通じて、「気軽すぎる旅」をご提案いたします。

<沿革>

2012年 3月 Peach就航

2012年 11月 累計搭乗者数100万人到達

2015年 8月 累計搭乗者数1,000万人到達

2017年 8月 累計搭乗者数2,000万人到達

2019年 3月 国際線累計搭乗者数1,000万人到達

2019年 6月 累計搭乗者数3,000万人到達

Peach について(www.flypeach.com)

Peach は、2012 年 3 月に関西空港を拠点として運航を開始しました。現在では関西空港に加え、新千歳空港、仙台空港、那覇空港を拠点空港とし、25 機の機材で、国内線 17 路線と国際線 16 路線に就航しています。1 日あたりの運航便数は約 100 便で、毎日 13,000 人以上のお客様にご利用いただいています。Peach は成田空港を拠点空港とするバニラエアと 2019 年度末をめどに統合し、アジアのリーディング LCC を目指します。